

網走桂陽高校で意見交換会を実施しました

市民に開かれた議会を目指して網走市議会では、2013年から市民向けの議会報告会や意見交換会をこれまで計10回開催しています。

今回は、将来のまちづくりの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映するため、9月29日に網走市議会議員13名が網走桂陽高校の生徒103名と「選挙に行こう！」をテーマに意見を交わしました。

会場は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策としてマスク着用、手指消毒を実施し、密を避けるために体育館で開催しました。

意見交換会の前段は「市議会ってなあに？」をテーマにパワーポイントを使って市議会の仕組みや市議会議員の役割など説明しました。

後半は市議会議員選挙の投票率が下がっている現状を踏まえ、「選挙に行こう！」をテーマに「こんな選挙なら若い世代は投票に行くよ」というアイデアを議員と生徒が各グループで話し合い、意見を出し合いました。

生徒からは「投票に特典や景品を付けたらどうか」「SNSを積極的に活用する」「選挙に絡めたフェスを実施してはどうか」「公約を動画で配信してはどうか」など多くの意見がありました。